

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

| No. | 事業名 | 事業概要・目的 | 事業内容 | 事業費 (補助金交付額) 単位:円 | 本事業における重要業績評価指標(KPI) | | | | 総合戦略の基本目標 及び施策 | 外部有識者からの評価 | | 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|-----|------------------------|--|---|--------------------------|----------------------|-------|-----|-----|--|-------------------|--|-------------------|--|
| | | | | | 指標 | 目標年月 | 指標値 | 実績値 | | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| 1 | 半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 | 本市の特性を踏まえ、良質な雇用の創出と人口還流の加速による地域の活性化という好循環を生み出す「半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するために必要な専門的な調査等を実施する。 | ■まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業【企画課】 総合戦略策定に関する専門的調査の実施経費(委託費): ・人口動態、産業構造等に関する調査・分析 ・市民意識調査の実施 ・KPI指標の検討支援 総合戦略案に関する意見集約等の事業経費: ・外部有識者会議の運営費 | 4,266,950 (4,266,950) | | | | | | | | | |
| 2 | 中心市街地活性化推進事業 | 本市の中心市街地は近年商業施設等の空き店舗が目立っている。クラシティ半田を始めとした中心市街地に商業施設を誘致するため、空き地、空き店舗の把握、地権者の意向調査、人の流れ等の状況を踏まえて、問題点を洗い出し、店舗等の利活用の施策検討を行う。また、中心市街地の核の施設であるクラシティ半田において、駐車場利用料の補助を行うことで、商業施設の賑わいを支援し、同地域の活性化につなげる。 | ■中心市街地活性化推進事業【経済課】 空き店舗等利活用調査等の実施経費: ・空き地、空き店舗、地権者の意向、人の流れ等に要する調査の実施経費 ■知多半田駅前再開発ビル商業施設利用促進事業【経済課】 ・商業施設を利用した者の1時間を超え2時間以内の駐車場利用に係る使用料の補助 | 4,140,000 (4,140,000) | 新規出店数 | H28.3 | 4件 | 3件 | 【基本目標1】 P5 産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる 【施策I】 P6 競争力ある企業活動に向けた支援と持続可能な商業の振興 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 一定の取組をしているものの、現段階では必ずしも結果に結びついていない時期であると感じる。中心市街地の活性化をクラシティ半田のリニューアルだけで担うのは難しい。活性化による効果(税収等)の分析を行い、中心市街地エリアの目指すべき姿と行政の役割を明確にするべきである。 | 予定通り事業終了 | 中心市街地の空き地・空き店舗の利活用を検討するために「中心市街地店舗等利活用調査」を実施し、報告書としてまとめた。今後は、本調査結果を踏まえ、魅力ある店舗誘致を進めるとともに、空き店舗を活用しオープンした「まちづくりステーションカガシヤ」において、チャレンジショップを開催するなど、新規創業者の発掘に努める。 |

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

| No. | 事業名 | 事業概要・目的 | 事業内容 | 事業費 (補助金交付額) 単位:円 | 本事業における重要業績評価指標(KPI) | | | | 総合戦略の基本目標 及び施策 | 外部有識者からの評価 | | 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|-----|--------------|--|---|----------------------------|--------------------------|-------|--------|--------|---|-------------------|--|-------------------|---|
| | | | | | 指標 | 目標年月 | 指標値 | 実績値 | | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| 3 | 中心市街地活性化推進事業 | 中心市街地における賑わいが停滞する中、半田市と商工会議所、商業者、地域住民の4者が連携して中心市街地の活性化を図る。 | ■中心市街地活性化推進事業【経済課】 ・半田市中心市街地まちづくり支援事業補助金: 半田商工会議所が実施する「まちづくり推進事業」に対し、補助金を交付する。(補助率:1/2) ・まちづくり推進室の設置 ・専従職員の配置、専門家のアドバイス等 | 1,415,000 (213,600) | 中心市街地における歩行者・自転車通行量(人/日) | H28.3 | 7,400人 | 6,356人 | 【基本目標1】 P5 産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる 【施策 I】 P6 競争力ある企業活動に向けた支援と持続可能な商業の振興 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | KPIが目標に到達していないことなどを含め、全体として結果が出ていないことを真摯に受け止め、さらなる対応をしてもらいたい。KPIである賑わいを創出するために、健康づくりと連携することも有効であると考えている。 | 事業の継続 | 中心市街地活性化のため、様々な取り組みを行ってきているものの、結果に結びついていないが、引き続き、会議所が行うまちづくり支援事業に対し補助を行い、専門家のアドバイスを受けるとともに、関係機関と連携を図りながら、にぎわいあふれるまちづくりを進めていく。 |
| 4 | 地域経済活性化推進事業 | 本市が実施する民間木造住宅耐震改修費補助金交付要綱により補助金の交付が決定した者のうち、耐震改修工事を市内業者と契約して施工した者に対し、「共通はんだ商品券」を交付することにより、市内業者の利用促進及び市内の消費喚起を促し、市内経済の活性化につなげる。 | ■地域経済活性化事業【経済課】 半田市耐震関連地域経済活性化推進事業補助金: ・補助金の交付額は対象工事費の5%、限度額10万円 | 2,167,000 (2,167,000) | 市内業者による施行率 | H28.3 | 80% | 85% | 【基本目標1】 P5 産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる 【施策 I】 P6 競争力ある企業活動に向けた支援と持続可能な商業の振興 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 総合戦略の目的を達成するためには商業振興は必要不可欠である。補助金による支援だけでなく、もっと市が主体的に商業振興を進めていくことが望まれる。 | 事業内容の見直し(改善) | 半田市民間木造住宅耐震改修費補助の上乗せ補助として、共通はんだ商品券を利用することで市内消費促進を図ってきたが、商品券を取り扱ってきたまちづくり会社が事業廃止を決定したため、半田市民間木造住宅耐震改修費補助に地域活性化を図る内容を盛り込み、制度の見直しを行った。 |
| 5 | 観光振興事業 | 平成27年度に主要な観光施設等がオープンするなか、これを機に本市を代表する観光資源「山車、蔵、南吉、赤レンガ」や食などの半田の魅力を効果的に情報発信することで、一層の誘客促進を図る。 | ■観光振興事業【観光課】 観光プロモーション推進業務委託費: ・駅構内や電車の中吊り、デジタルサイネージ制作・広報 ・半田運河鯉のぼり設置 ・赤レンガ誘客促進 | 28,063,248 (28,063,248) | 年間観光客数 | H28.3 | 120万人 | 132万人 | 【基本目標2】 P9 市内外から人々が集い活発な交流のある「まち」をつくる 【施策 I】 P10 地域資源を活用した観光の振興 【施策 II】 P11 市民と観光客等の交流を促進 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 観光入込客数が増え、結果に結びついている。これまでは新たな観光客獲得を目指したプロモーションが多かったと推測されるが、今後は、観光客の満足度を聴取して実態を把握するなど、リピーターやファンづくりにつながる施策を伸ばすことが望まれる。 | 事業の継続 | 観光プロモーションは、半田市の認知度を高め、誘客を促進していくうえで、有効な事業である。新たな観光客獲得と併せ、誘客に効果のあるエリア、年代などターゲットをしぼったプロモーションを展開していく。また、リピーター確保の視点を持って、観光振興事業に取り組む。 |

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

| No. | 事業名 | 事業概要・目的 | 事業内容 | 事業費 (補助金交付額) 単位:円 | 本事業における重要業績評価指標(KPI) | | | | 総合戦略の基本目標 及び施策 | 外部有識者からの評価 | | 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|-----|------------------|---|--|--------------------------|---|-------|--------|---------|---|-------------------|---|-------------------|---|
| | | | | | 指標 | 目標年月 | 指標値 | 実績値 | | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| 6 | 観光振興事業 | 平成27年度に主要な観光施設等がオープンするなか、これを機に鉄道駅周辺や観光スポット等にある既存の観光案内板及びガイドマップ等の整備により、市内に点在している観光施設の回遊性向上を図る。 | ■観光サイン設置事業【観光課】 ・多言語観光案内板の更新 ■ふるさと景観づくり推進事業【都市計画課】 ・ガイドマップの更新 | 5,572,800 (5,572,800) | 年間観光客数 | H28.3 | 120万人 | 132万人 | 【基本目標2】 P9 市内外から人々が集い活発な交流のある「まち」をつくる 【施策Ⅰ】 P10 地域資源を活用した観光の振興 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 観光入込客数が増え、結果に結びついている。観光客の回遊性を高めるためには、一般的な案内板やガイドマップだけでなく、ターゲットを絞り、ターゲットの興味関心や行動パターンを分析したうえで、適切な情報を届ける必要がある。 | 事業の継続 | 観光客の目線に立って、観光案内板やガイドマップを適宜更新・新設を行い、市内の回遊性向上につなげていく。また、インバウンドとして、多言語対応を図っていく。 |
| 7 | 病児保育施設整備事業 | 病児保育事業の平成29年度からの実施に向け、半田病院旧伝染病棟を改修し、保育室及び静養室(隔離室含む)等を整備する。 | ■病児保育施設整備事業【幼児保育課】 全体事業計画: H27: 実施設計 ・実施設計委託 H28: 病児保育施設整備 ・改修工事 | 734,400 (213,600) | 【H27】実施設計の策定 【H31】理想とする子どもがいるまたは持つ予定である若い世代(女性)の割合 | H28.3 | - | 実施設計の完了 | 【基本目標3】 P12 若い世代に選ばれる「まち」をつくる 【施策Ⅰ】 P13 出産・子育てのしやすい環境の整備 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 子育て環境の整備としては、必要性の高い事業で評価できる。 | 事業の継続 | 計画通りに実施設計を完了し、平成29年4月開所に向けた病児保育施設整備事業が完了した。利用周知を図り、事業の継続により子育て環境整備に寄与する。 |
| 8 | 半田市プロモーション映像制作事業 | 本市の魅力や価値を国内外に発信し、全国的な認知度やイメージを向上させ、観光誘致や企業誘致、さらには定住人口の増加などを図るため、本市の姿を戦略的・効果的に伝えていく。 | ■プロモーション映像制作事業【企画課】 半田市プロモーション映像制作業務委託費 | 1963440 (1,963,440) | 動画公開直後の月間閲覧 | H28.3 | 2,000回 | 2,214回 | 【基本目標3】 P12 若い世代に選ばれる「まち」をつくる 【施策Ⅲ】 P15 若い世代の定住を促進 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | KPIは達成しているものの、閲覧回数が少ないと感じる。学生などの若い世代に関わってもらうことが大切であった。 | 予定通り事業終了 | 市の魅力や価値を国内外に向け発信し、全国的な認知度を向上させるとともに、市民が市の魅力を再認識し、まちへの愛着をより一層高めてもらうことを目的としたプロモーション映像を完成することができた。28年度に策定する半田市シティプロモーション戦略に資する事業として、本映像を活用し、動画ならではの訴求力を活かした魅力発信を行っていく。 |

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

| No. | 事業名 | 事業概要・目的 | 事業内容 | 事業費 (補助金交付額) 単位:円 | 本事業における重要業績評価指標(KPI) | | | | 総合戦略の基本目標 及び施策 | 外部有識者からの評価 | | 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|-----|--------------------------|---|---|--------------------------|----------------------------------|-------|------|-------|---|-------------------|--|-------------------|--|
| | | | | | 指標 | 目標年月 | 指標値 | 実績値 | | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| 9 | 畜産臭気対策事業 | 本市は県内有数の畜産地域である。その大半の牧場が住宅地域から1km以内にあり、都市近郊型が特徴である。 転出者を対象としたアンケートでは半田の改善すべき点として住宅地への畜産悪臭をあげた方が1割程度いた。快適な住環境を確保することによって、定住者の拡大を図る。 | ■畜産臭気監視事業【環境課】 産臭気監視費: ・畜産臭気に関する大同大学との共同研究 ・臭気指数と臭気濃度の測定 ■畜産臭気対策事業【経済課】 畜産環境対策推進費: ・畜産農家が実施する畜産臭気対策に対する補助 | 5,580,048 (5,580,048) | 住宅地から1km以内の牧場の敷地境界上での臭気指数15以下の割合 | H28.3 | 100% | 85.7% | 【基本目標4】 P16 安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる 【施策Ⅰ】 P17 畜産への理解促進と良好な生活環境の確保 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 一定の成果が確認できるものの、県内では臭気のない市町村の方が多い。人が気がならない程度の臭気にならないければ、決して安心・快適とは言えない。しかし、畜産臭気対策はすぐに成果を上げることが難しい取組であるなか、市による監視指導が成され、畜産農家の自主的な協力を引き出すなど、市として課題に向き合い対策を進めている。 | 事業の継続 | 大学との共同研究により、畜産臭気の低減には、固液分離や副資材による水分調整が重要であることが確認できた。今後は、研究結果を畜産農家に提供し、農家の自主改善による臭気低減を促すとともに、より消臭効果を高めるための消臭資材には購入費を助成することで、本市の重要課題である畜産臭気の低減に取り組む。 |
| 10 | 安心・安全なまちづくりに向けたICT活用推進事業 | 市民等が安心・安全なまちづくりに資する情報を行政に提供することができるネットワークを整備することで、災害時の対応を含め、迅速、かつ効率的に安心・安全なまちづくりを推進する。 | ■ICT活用推進事業【企画課】 ・マイレポはんだ災害版の構築 | 4,000,000 (4,000,000) | 市民等からの情報提供数 | H28.3 | 300件 | 255件 | 【基本目標4】 P16 安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる 【施策Ⅱ】 P18 安心・安全なまちづくりの推進 | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 安心・安全なまちづくりの推進に寄与できているが、施策全体として、他市町との比較に留まらず、絶対値として足りているのかという視点のもと、真に必要な安心・安全対策を追及されたい。 | 事業の継続 | 実績値は指標値(KPI)に届かなかったが、他市町より進んだ制度として運用しており、事業を継続し、安心・安全なまちづくりに寄与する。 |